日刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）
電話｛（鉄電） 千葉 2935・2936番
（公） 043（222）7207番

92.12.21 No. 3712

貫徹した4波のストライキ

銚子支部 確信固く闘う方針確立

12/12 第13回大会圧倒的にかちとる

錦織支部長を先頭に93年の勝利を固く誓い合った。

十二月十二日、銚子コミュニティーセンターにおいて、銚子支部第十三回定期大会が開催された。冒頭挨拶にたった錦織支部長は「この一年間銚子支部は四波のストを断固貫徹した。ダイ改の度に労働条件が悪くなる。このような状況では力をもって闘わざるをえない。それがわれわれの使命だ。中労委の解決案や六・二五判決は解雇者に対する侮辱だ。しかし、かちとった七名の勝利は今後の運動にとって大きなことだ。いよいよ第二波ストの判決が近づいている。西本君をはじめ八名に、勝利の吉報を届けなければならない」と提起。続いて議案が提案され、活発な討論のうえ、闘う方針が確立された。

活発な討論で方針を決定

【出された主な意見】

● ライフプランの研修に行ったが、千葉以東は出向先もないと言っている。会社は高齢者は辞めさせようとしているだけだ。休職制度の団交の現状は？

● 強制配転者の原職復帰に向けた闘いの現状はどうなっているのか聞きたい。

● 休日勤務にでる者がいると、人が足りているということにってしまう。強制配転された仲間のことを考えると、われわれももっとかんばらなければならない。

● 大菅踏切の事故で、会社側は、まともな安全対策もせず、見舞金を集めている。これに対する対応は？

● 組織拡大について、どのように考えているのか見解を聞きたい。

■ 九二年度新役員

支部長	錦織芳雄
副支部長	越川幸夫
書記長	鈴木貴雅
執行委員	郡川雅巳
	濤川越一夫
	志賀日出男
	関根嘉一
	渡辺一美
	靖正

怒りを貨物当局・日貨へ

格差拡大許さず！

佐倉支部大会開催

佐倉支部定期大会は、十二月十六日、二十一名の組合員の参加で成功裡にかちとられた。

来賓に本部中野委員長、田中書記長が参加し九十三年の闘う方針を討論・確立した。

綿貫副支部長の司会ですすめられ、能瀬氏を議長に選出して進められた。

本大会は、特に東日本と貨物の格差のより拡大という中で例年になく真剣に討論が行われた。質疑としては

① 年末手当の格差には、ストで闘うべきではなかったか。

② 手当の臨徴では、配慮があってしかるべきではないか。

③ 退職時の差の拡大は何んとかしてほしい。また、六十歳まで職場で働ける体制を闘いとるべきだ。

④ 貨物会社の合理化について、要員問題を含めてストで闘うべきではないか。

等等、真剣な論議が交わされ「来春の二月、三月は、貨物支部の課題を中心にストライキで闘う」との決意を全体で確認し、熱気のうちに終了した。

〈敵を見誤ることなく、闘いのなかから活路を〉

■ 九二年度新役員

支部長	宮内正志	四四	運転士
副支部長	綿貫栄一	四六	主任運転士
書記長	田中龍美	四〇	車両技術係
執行委員	中台正幸	四〇	事務係
同	飯高文彦	三五	運転士
同	山本茂雄	三五	車両技術係
会計監査	大関弘明	五〇	車技主任
同	石川稔	三五	運転士